

共聴施設の新設にも補助金

新たな難視地区を把握

総務省と全国テレビ放送事業者で組織する「全国地上デジタル放送推進協議会」は8月31日、アナログ放送は見られても地上デジタル放送が見られない「新たな難視地区」の対策計画を公表しました。この中で、本市に「新たな難視地区」が81地区あることが分かりました。

また、この81地区以外にも17地区で、市民の皆さんから「地上デジタル放送が見られない」との情報が寄せられています。

新たな助成制度を創設

市は、既存の自主共聴施設を改修する場合、最終的な各戸負担を7千円とする助成制度を実施しています。

今回の対策計画の公表を受けて、「共聴施設を新たに整備する組合」も助成が受けられるよう制度を拡充しました。さらに、有線だけでなく、無線による施設置換・新設も助成対象となります。

共聴施設を新設する場合、補助金申請から工事完了まで半年以上かかりますので、お早めに地域内で協議を始めてください。

地デジが見られない場合の対応

地上デジタル放送を見るには、①地上デジタル放送対応テレビを購入する、または②専用チューナーを購入して従来のアナログテレビにつないで見る、の2つの方法があります。

さらに、個別アンテナで地上デジタル放送を受信するためにはUHFアンテナが必要です。アンテナが電波の来る正しい方向に向いていること、アンテナからの配線がデジタルテレビやデジタルチューナーに正しく接続されていることも大切です。

それでもなお、地上デジタル放送が見られない場合、下のような対応が必要です。

地デジ全般に関するお問い合わせは

総務省地デジコールセンター

☎0570・070101
(ナビダイヤル)
9時～21時(土・日・祝日9時～18時)
※IP電話など、ナビダイヤルがつかない方は、☎03・4334・1111で、お受けしています。

Digital
「地デジ」の対応はお早めに

共聴施設の新設にも補助金

政策推進課 ☎0824・73・1113

平成23年7月24日までに、テレビ放送はデジタル放送へ完全移行し、これまでのアナログ放送は見られなくなります。

そのため、市は国やNHKなどの放送事業者と協力しながら、完全移行までに市内の全世帯で地上デジタル放送が見られるようさまざまな取り組みを進めています。

市民の皆さんも、地上デジタル放送が見られるかどうか確認するなど、早めの受信準備をお願いします。

現行制度と新たな助成制度

現 行	
整備方式	一世帯あたりの組合加入者負担額
有線による共聴施設改修	7,000円

+

新たな助成制度	
整備方式	一世帯あたりの組合加入者負担額
有線による共聴施設新設	7,000円～35,000円
無線による共聴施設置換・新設	7,000円

※一世帯あたりの組合加入者負担額はNHKから最高10万円の助成金を受けた後の金額です。

※無線による共聴施設の置換・新設については、各戸でアンテナの設置が必要となり、この費用は自己負担となることから、均衡を考慮し7千円を負担額とします。

※市補助金は千円未満の端数を切り捨てるため、負担額に端数が生じる場合があります。

地デジを見るための流れ

個別アンテナで地上デジタル放送が見られない

電気店へ相談する

電波が弱いと言われた

電気店へ改善を依頼

市役所と総務省地デジコールセンターへ連絡する

地域で共聴施設を新設する

戸別に高性能アンテナを設置する※

組合を設立する

組合の代表者が市へ補助金の手続きを進める

※国は、新たな難視地区内で高性能アンテナを設置する世帯への補助制度を検討しています。

地上デジタル放送視聴のための説明会

総務省広島県テレビ受信者支援センター(デジサポ広島)は、地上デジタル放送を視聴するための説明会を開催します。

「地上デジタル放送とは？」からメリットや受信方法など、ビデオを使ってやさしく、丁寧に説明します。

実施日	会 場
11月20日(金)	高南小学校、本村自治振興センター、峰田自治振興センター、敷信自治振興センター、山内自治振興センター
11月23日(月)	庄原市民会館、東自治振興センター、北自治振興センター
11月24日(火)	ウイル西城、小島原小学校体育館、庄原市役所東城支所、内堀健康増進センター、帝釈環境改善センター
11月25日(水)	八幡多目的研修集会所、口和文化ホール・ヒューマンライツ、上高公民館、比和文化会館、総領文化会館

※開催時間 各会場とも①11時～12時、②14時～15時の2回開催

65歳以上の世帯でデジサポが訪問

説明会に参加できない65歳以上の高齢者に対し、申し込みがあれば戸別訪問による説明も行います。ご希望の方はデジサポ広島へご連絡ください。

問い合わせ デジサポ広島
☎082・544・0227
(平日10時～18時)

「デジタル化工事」を装った詐欺にご注意ください!

これまでに、総務省や公的機関などと称して、地上デジタル放送受信のための不当な費用請求や勧誘、助成金を受け取るための費用を請求するといった内容の文書が届いたなどの情報があり、総務省その他関係機関に寄せられています。

地上デジタル放送の受信に関して、疑わしい工事の勧誘を受けた場合や、身に覚えのない工事代金の請求を受けた場合には、すぐに支払わず次にご相談ください。

問い合わせ 総務省中国総合通信局
デジタル放送受信者対策室

☎082・222・3384
庄原警察署
☎0824・72・0110
庄原市消費生活センター
☎0824・73・1228

博士の一口メモ
無線共聴(ギャップファイラー)とは



小出力電波を発射する施設で、山間部などの地理的条件等により放送電波が届かない地域の難視聴地区を解消するために設置されるんじや。

電波の届く範囲は、ギャップファイラーから、だいたい1㌔程度の範囲なんじやよ。

